

## 第1回一関市総合計画審議会会議録

企画調整課

1 会議名 平成26年度第1回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成26年4月21日(月) 13時30分～15時35分

3 開催場所 なのはなプラザ3階 一関公民館 大会議室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 15人

岩渕三枝子委員、及川忠委員、小山麗子委員、金野久美委員、小森洋子委員、菅原勇委員、千田博委員、千葉和行委員、千葉敏恵委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、永澤由利委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員(会長)、三浦幹夫委員

欠席委員 12人

阿部新一委員、阿部美代子委員、大澤弘毅委員、小野松男委員、木村静恵委員、小岩邦弘委員、佐藤芳郎委員、菅原五三男委員、千葉久美委員、千葉博委員、千葉政吉委員、松岡千賀子委員

(2) 市出席者

市長、企画振興部長、企画調整課員

5 会長挨拶

この審議会は、今年度は基本構想を策定することが仕事となる。10年間、さらにはその先の一関市を支えていくために市民にとってどのような計画がよいのか、未来永劫住むためにどのようなまちにすればよいのか考えなければならない。すばらしい計画をつくるため、多くの人達からの意見を盛り込んで練り上げていきたい。

6 市長挨拶

総合計画については、この審議会を中心に計画策定を進めていくので、今年度についてもよろしく願いしたい。

最近の市の状況についてお話しする。

明後日、県立大東病院が40床で入院再開となる。大東病院は、東日本大震災で建物の構造そのものに壊滅的な被害を受け、入院機能を停止していた。津波被災地の病院と同様、早期の再開を要望し、再開することとなった。

市内には県立病院が磐井、千厩、大東、南光と4つあるが、勤務医の状況が過酷で、1人でも欠けると機能しなくなってしまう。今の利用状態のままだと医師が減っていくことになりかねないので、様々な広報手段で適正な医療機関の利用についてお知らせしていくこととしている。

地域医療の問題は、総合計画に欠かせない大きな問題である。医療機関の充実だけではなく、市民サイドでも医療機関にかからないような健康づくりを行い、自分の健康を自分で守るという体制を基本としておかなければならないと思っている。

先週で各地域の区長会議が終了した。出席し、協働について話をさせていただいた。

協働は単純なものではなく、行政の立場、市民の立場、それぞれ異なる立場で一つの事業をやっていくものである。単純に一緒にやっていくというだけだと動きが止まってしまうので、違う立場でやっていくという共通認識を持ち、お互いの長所や特色を生かしてやっていくことが必要である。

7 諮 問 市長から畠中良之会長に諮問書を手交した。

8 報 告

総合計画策定基本方針の決定について【資料No.1】

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

なし

9 議 題

(1) 総合計画審議会委員の意見等への回答【資料No.6】

(2) アンケートについて

- ・ 総合計画策定アンケート実施要領【資料No.2】
- ・ アンケートに係る意見について【資料No.3】
- ・ アンケート前文案【資料No.4】

(3) (仮) ワークショップの進め方について【資料No.5】

10 審 議

(1) 総合計画審議会委員の意見等への回答

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

なし

(2) アンケートについて

- ・ 総合計画策定アンケート実施要領案
- ・ アンケートに係る意見について
- ・ アンケート前文案

事務局から一括して資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

① 審議会委員意見

回収率を上げるため、努力しないといけないと思う。何もしなければ、関心がある人しか回答しない。国勢調査は全戸訪問し、回収する。この市民アンケートについても、費用をかけずに回答率を上げるため、市職員が訪問し回収するようにはどうか。

市回答

答えない、ということも反応の一つと考える。また、国勢調査は<sup>しっかい</sup>悉皆調査であり、このような市民アンケート調査とは性質が異なる。

② 審議会委員意見

イベント等人が集まる時にアンケートを実施してはどうか。

会長

前日も同意見があったが、このような分量のアンケートをイベント時に行うのは難しい。

③ 審議会委員意見

室根まちづくり協議会では、昨年度、小学校以上の全住民にアンケート調査を行い、自治会長に配布、回収をお願いした。小・中学校では回収率 100%、一般住民は 85%であった。回収率は高かったが、アンケートの中身については書いていない回答が多かった。

設問についてだが、同じような回答になるものがいくつかあり、分析が大変だった。設問を工夫してほしい。

会長

回収率ではなく、回答のその後の活用が大事である。

④ 審議会委員意見

中高生アンケートを中学校 3 年生、高校 2 年生に限定した理由は何か。

市回答

進路を問う設問があるためである。高校 3 年生に関しては、進学等に配慮し、高校 2 年生を対象とした。

⑤ 審議会委員意見

「アンケートを配布したので、送付された方は回答をお願いしたい。」という広報をしっかりとやってほしい。

⑥ 審議会委員意見

アンケートを広報に挟み込んで配布するのはどうか。

会長

広報に挟み込むと世帯配布になる。

⑦ 審議会委員意見

計画をつくるのは市民ということを強調してほしい。市民がまちづくりの中心であることをピアーールしなければならない。

会長

計画をみんなで作るという意識づくりは大切である。

⑧ 審議会委員意見

アンケート項目の選択肢は、回答する側の立場に立って検討してほしい。わからない方のために、わからない等の選択肢は必要だと思う。

会長

ご意見として承る。前回のアンケートでも配慮していたようだ。

⑨ 審議会委員意見

行政区長の了解を得て、「アンケート記入後、行政区長まで提出してください。」としてはどうか。

会長

「アンケート記入後、一関市長 勝部修までお返してください。」というのも良いかもしれない。

⑩ 審議会委員意見

市長の名前をもっと上に表示してはどうか。「一関市長からあなたにお願いします。」というようなイメージではどうか。

⑪ 審議会委員意見

パブリックコメントを回収するところで、アンケートを配布するのはどうか。

会長

同じ方が何度も回答する可能性があり、難しい。

市回答

誰でもアンケートに回答できるようにしてしまうと、年代等で抽出している意図と合わなくなる。

⑫ 審議会委員意見

審議会についての記載がないが、審議会が意見を聴取するためにアンケートを実施していることについての記載は不要か。

市回答

アンケートは市が実施し、審議会には結果をお知らせするということになるので、審議会についての記載はしていない。

⑬ 審議会委員意見

農協では、職員が各戸を回って広報を配布することになった。公民館職員も回収に参加してはどうか。また、職員による「回答をお願いします」という声掛けが必要だと思う。

会長

ご意見として承る。

⑭ 審議会委員意見

キャッチコピーは、自分たちがつくるまちづくりというのを全面に出してほしい。

⑮ 審議会委員意見

キャッチコピーは案③がいいと思う。

会長

キャッチコピーは事務局にお任せいただいてもよいか。

また、事務局には、アンケートを送って返ってくるのを待つだけではなく、回収率を高めたいという委員の意見を踏まえた検討をしてほしい。

(3) (仮) ワークショップの進め方について

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

⑯ 審議会委員意見

日程について、1日目を全て同じ日にはできないか。

会長

スタッフの対応ができないため、難しい。

⑰ 審議会委員意見

藤沢の野焼きまつりが8月9日であるため、配慮してほしい。

会長

日程調整については、事務局にお任せいただきたい。

会長

配付済の基本構想に入りたい表現を記入する用紙について、提出をお願いしたい。

11 その他

事務局から下記についてお知らせした。

(1) 審議会委員の再任について

再任の希望について、意向調査の用紙を配付済である。記入し提出してほしい。

再任を希望されない場合も、任期（H26.8.23）までは委員としてお願いしたい。

(2) パブリックコメント回収箱の設置について

平成 26 年 3 月 27 日から、本庁支所、公民館、図書館に審議会資料とパブリックコメント回収箱の設置を行った。

(3) 一関市総合計画策定委員会

平成 26 年 4 月 7 日、任期を 2 年として設置した。

(4) K E K 視察研修

今年度も 5 月に K E K 視察研修を実施する。去年参加していない審議会委員の方には案内を送付するので、参加希望の方は連絡してほしい。

15 時 35 分 閉会

12 公開、非公開の別 公開

13 傍聴者の数 3 人（報道機関）